



友垣よ

練馬区立石神井西中学校だより
令和六年七月十日 第五(十六)号
校長 井上貴 推

国民の祝日：夏休みには山の日あり！

今年も夏がやってきます。3年生にとっては、自己実現に向けた大切な夏。誰にでも平等にある時間を有効に使って、目標をしっかりと定め、それに向かって力を蓄える大切な夏です。1、2年生は、部活動や自分のやりたいことをやりながらも、やらなければならぬこともしっかりと自分からできる…そんな夏にしてほしいと思います。さて、そんな夏には、一番新しく制定された国民の祝日があります。八月十一日の「山の日」です。今回は国民の祝日とは何か、また、どんな日であるのか、探ってみたいと思います。

1 祝日ってどうしてあるの？

国民の祝日は、昭和二十三年に制定された「国民の祝日に関する法律」の第一条に次のように規定されています。

○自由と平和を求めてやまない日本国民は、美しい風習を育てつつ、よりよき社会、より豊かな生活を築きあげるために、ここに国民こぞつて祝い、感謝し、又は記念する日を定め、これを「国民の祝日」と名づける。

つまり、国民の祝日は、「美しい風習を育てつつ、よりよき社会、より豊かな生活を築きあげるため」に設けられているものです。長きにわたって「風習」として大切にされてきた日本の文化を表しているものと捉えても良いと思います。現在は一月一日の元日から十一月二十三日の勤労感謝の日まで一年間のうちに十六日が前述の法律の第2条に記されています。このうち、日にちが決まっているものが十日、○月の第○月曜日と指定されている日が四日あり、春分と秋分はその年々によって一日前後動くのですよ。

2 それぞれの祝日は何を祝い、何に感謝するのか

前述した「国民の祝日に関する法律」には、それぞれの日がどういう理由で制定されたのかについても記載があります。例えば、元日は

「年のはじめを祝う。」とあります。五月五日のこどもの日は、「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する。」とあります。どうでしょう。知っていましたか。こどもの日は文字通り「こどもの幸福をはかる」日には違いありませんが、「母に感謝する」日でもあるのです。こどもの日は「お母さんに感謝する日なのか！」と初めて知った人も多いのではないのでしょうか。この他にも春分の日には「自然をたたえ、生物をいつくしむ。」日ですが、秋分の日には「祖先をうやまい、なくなつた人々をしのぶ。」日です。同じ昼夜の時間が同じ日なのに、制定の趣旨は全く異なっています。春分と秋分はお彼岸の中日という言い方もあります。まさに「日本の風習」を表す祝日ですね。家族がそろってお墓参りに行くという家もあるのではないのでしょうか。祝日を考えていくと、古くから大切にしてきた日本の習慣にも触れることができるのです。それぞれの祝日について調べてみるのも面白いと思いますよ。

3 そこで一歩新しい「山の日」とは！

「山の日」は、「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」という趣旨の国民の祝日です。他の祝日と異なり、山に関する特別な出来事などの明確な由来があるわけではなく、「山の日」を国民の祝日にしよという様々な動きによってできました。

「山の日」がこの日になった理由については、当初、祝日の無い6月とする案、「海の日」(7月第3月曜日)の翌日にする案などがありました。国民の祝日になる前から全国各地に独自の山の日があり、その日付は8月8日や11月11日など、「8」や「11」を用いる傾向がありました。これは、「八」の字が山の形にみえるため、木が立ち並びイメージから「11」というふうには、山を連想させる数字だからだそうです。

決まった歳時のない「山の日」は紆余曲折の末、制定されました。「そもそも学校は夏休み中」とか「お盆休みなので微妙」など、立場によってさまざまな意見があるようですが、いずれにしても有意義に過ごしたいもの。平地の少ない日本にとって元々山は身近な存在です。今年の夏休みは、本格的な登山は難しいかもしれませんが、近くの山へハイキングなど計画してみてもいいかがでしょう。